

Abiko City

**基本目標 1**

**誰もが安全に  
安心して暮らせる  
まちづくり**  
(安全・安心)

## 1-1 防災・減災対策の推進

市民の防災・減災に対する意識を高めるとともに、災害に備えるまちづくりを進めます。

### 施策の展開内容

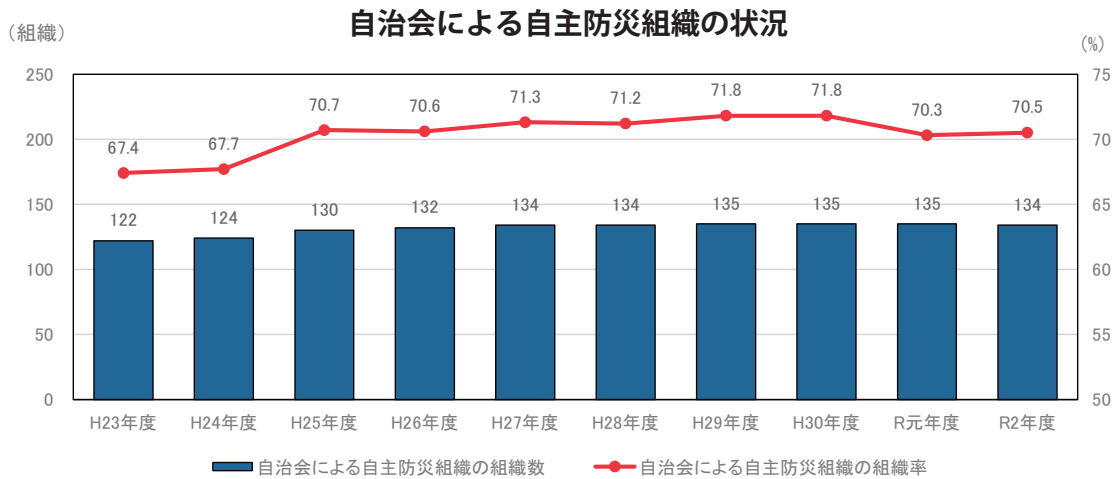
市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。

さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。

### 現状と課題

- 近年、全国的に台風や集中豪雨などによる風水害が多発・激甚化し、また、大地震の危険性が指摘されています。大規模な災害に対して、被害を最小限に抑え、市民の生命・身体及び財産を守る対策と災害に強いまちづくりが求められています。
- COVID-19が世界的にまん延し、社会・経済や人々の生活にさまざまな影響をもたらしていることから、安全・安心な暮らしへのニーズは一層高まっています。新たな感染症のまん延を防止するための対策を効果的に進める体制を整備する必要があります。
- 南海トラフ地震や首都直下地震などの大地震は発生の切迫性が指摘されており、ひとたびこのような大地震が発生すると、建築物の倒壊などによる被害は甚大なものと想定されます。市民の生命・身体及び財産を守るため、建築物の倒壊などによる被害を未然に防止する必要があります。
- 武力攻撃事態や大規模テロなどの被害はいつどこで発生するかわかりません。ミサイル攻撃、テロ攻撃などの国民保護事案への備えの観点から、日頃から国民保護計画を実効性の高いものに推進していく必要があります。
- 大規模災害時は、公的支援である公助には限界があります。市民一人ひとりが災害に備え、自らの命は自らが守る自助、互いに助け合い地域を自分たちで守る共助の力が必要不可欠です。自助、共助、公助が一体となった災害予防体制と災害応急対策を強化する必要があります。
- 減少傾向にある消防団員数について、10年以上にわたり定数が確保されない状態が続いています。災害に対応できるよう、地域の実情を踏まえた適正な規模の活力ある消防団体制と団員を将来的に確保していく必要があります。





### 主な取組

#### 防災体制の整備と適切な情報伝達

- さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備と危機管理体制の強化に取り組みます。
- 河川の氾濫を防ぐため、利根川や手賀沼のさらなる堤防強化を国・県に働きかけていきます。
- 台風などにより手賀川と手賀沼の水位上昇が予想される際には、事前放流を引き続き実施するよう国に要請していきます。
- 緊急輸送道路を最優先に、災害による道路の被害状況を速やかに把握し、道路交通を確保するため、警察や国・県と連携して、通行制限や迂回路の選定など、道路交通の安全策を講じます。
- 総合防災訓練などを通じて市民と連携した応急給水訓練を行い、災害時の即応能力の向上を図るとともに、県及び他の水道事業者との協定に基づく相互応援体制を維持していきます。
- 地震による建築物の倒壊などの被害を未然に防止するため、耐震診断や耐震改修への支援、耐震性などに優れた住宅の認定、損傷や劣化のある建築物への指導などにより、建築物の防災対策を推進します。

#### 防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化

- 防災訓練の実施や防災・減災情報の積極的な提供を行うことにより、市民の防災意識の向上を図ります。
- 安全な避難行動に向けた周知活動に取り組むとともに、自治会・自主防災組織を中心に自助・共助の体制強化と地域防災力の向上を図ります。
- 地域防災において重要な役割を担う消防団については、大規模災害時における地域との連携がスムーズにできるよう、団活動の拠点機能を保持するとともに、継続的な訓練を実施し、知識と技術の向上を図っていきます。また、団員の定数確保に向けて処遇改善、環境整備などを行います。
- 大地震に備えて市民の地域防災に対する意識向上を図るため、大地震により滑動崩落の恐れがある大規模盛土造成地について、ハザードマップなどにより情報提供していきます。



## 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
自治会による自主防災組織の組織率	70.5% (R2)	73.9%	自治会による自主防災組織数／自治会数
自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	18 組織 (R2)	25 組織	
消防団訓練参加率	60% (R1)	60%以上	延べ参加団員数／延べ団員実数 ※警防課が招集している訓練

## 施策の満足度・不満足に関する指標

### 【災害に強いまちの実現】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 87.2%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	39.0%	61.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	11.3%	10.6% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	10.7%	
	湖北地区	13.2%	
	新木地区	14.0%	
	布佐地区	15.9%	

### 【危機管理の推進】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 76.7%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	24.7%	54.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	9.6%	9.2% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	9.3%	
	湖北地区	10.4%	
	新木地区	9.3%	
	布佐地区	10.3%	



## 1-2 浸水対策の推進

台風や大雨等による浸水被害を少なくするための取組を進めます。

### 施策の展開内容

市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。

さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設（※1）設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。

（※1）雨水流出抑制施設

調整池、浸透ますなどの、雨水を貯めたり地下に浸透させたりすることで、大量の雨水を一時に流さないための施設

### 現状と課題

- 近年、全国各地で豪雨などによる水害が頻発し、甚大な被害が発生しています。浸水被害対策として、計画的に雨水排水施設の整備を進めるとともに、既存施設の適切な維持管理を行う必要があります。

### 主な取組

#### 雨水幹線などの整備

- 市街地での浸水被害を軽減するため、計画的な雨水排水施設の整備を進めます。
- 既存の雨水排水施設の機能を確保するため、適切に維持管理していきます。

#### 浸水対策の普及

- 雨水流出を抑制するため、開発事業者や建築事業者に対し調整池や浸透ますなどの雨水流出抑制施設の設置指導を行うとともに、住宅への雨水貯留タンクの設置を推進します。



### 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
浸水対策達成率	67% (R2)	74%	整備完了面積／事業計画面積

### 施策の満足度・不満度に関する指標

#### 【浸水対策の推進】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 84.1%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	38.7%	59.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	7.3%	5.8% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	9.7%	
	湖北地区	9.9%	
	新木地区	5.9%	
	布佐地区	6.7%	



### 1-3 防犯対策の推進

犯罪の起こりにくい環境づくりと、市民の防犯意識の向上を図ります。

#### 施策の展開内容

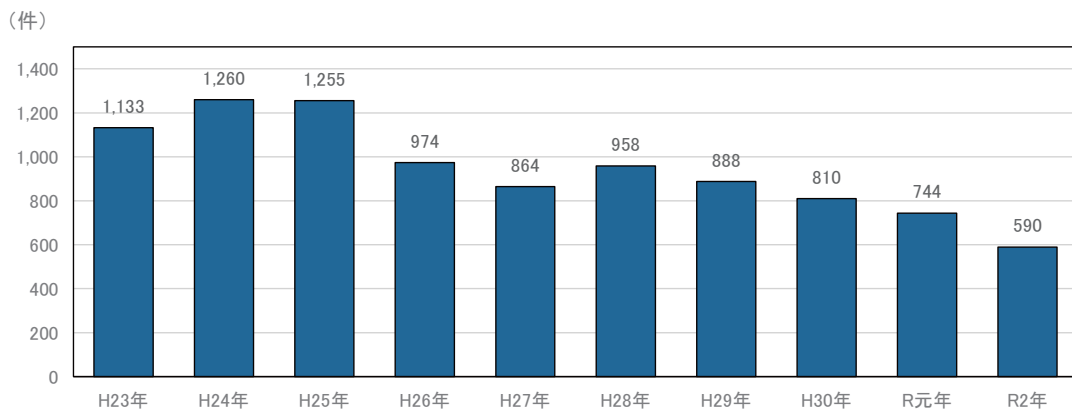
防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。

また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。

#### 現状と課題

- 子どもが巻き込まれる犯罪や高齢者に対する特殊詐欺などによる被害が増加しています。防犯意識や地域防犯力を向上させる必要があります。
- 契約の際の販売方法や支払方式が複雑・多様化しています。すべての消費者が、消費者被害に遭わないよう、国などの関係機関と連携し、対策を講じる必要があります。
- 社会情勢の変化にともない、青少年を取り巻く環境も大きく変化しています。青少年の安全・安心のために、学校・警察などの関係機関と連携を密にしながら、対策を講じる必要があります。

刑法犯認知件数



**主な取組****防犯意識の向上と活動の推進**

- 防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。
- 地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識と地域防犯力の向上を図ります。
- 学校と連携して小中学生をめぐる現状を把握し、事故や犯罪に巻き込まれないよう啓発及び情報提供をしていきます。
- 警察と連携し、少年指導員とともに、帰宅指導や交通マナー遵守などの指導を行っていきます。

**消費者被害の防止**

- 国民生活センターや千葉県消費者センター、千葉県弁護士会などと連携し、相談体制の確保、消費生活に関する知識の普及や情報提供などの啓発活動に取り組むことで、消費者被害の未然防止や早期発見、解決を図ります。





## 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
刑法犯認知件数	590 件 (R2)	590 件以下	1 月から 12 月までの年間 市内発生件数
市内一斉パトロール延べ参加者 数	1,482 人 (R2)	1,570 人	

## 施策の満足度・不満度に関する指標

### 【犯罪のないまちの実現】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 88.4%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合 (市全体)	51.1%	62.0%	「満足」「やや満足」と回答 した人の割合
不満を感じてい る人の割合	我孫子地区	10.6%	9.7% 以下  「不満」「やや不満」と回答 した人の割合
	天王台地区	12.0%	
	湖北地区	9.8%	
	新木地区	12.2%	
	布佐地区	12.4%	

### 【消費者の安全・安心の確保】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 60.4%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合 (市全体)	25.8%	42.0%	「満足」「やや満足」と回答 した人の割合
不満を感じてい る人の割合	我孫子地区	7.8%	7.5% 以下  「不満」「やや不満」と回答 した人の割合
	天王台地区	7.6%	
	湖北地区	9.3%	
	新木地区	11.9%	
	布佐地区	12.5%	





## 1-4 消防力の強化

火災などの災害から市民を守るため、消防・救急・救助体制を充実します。

### 施策の展開内容

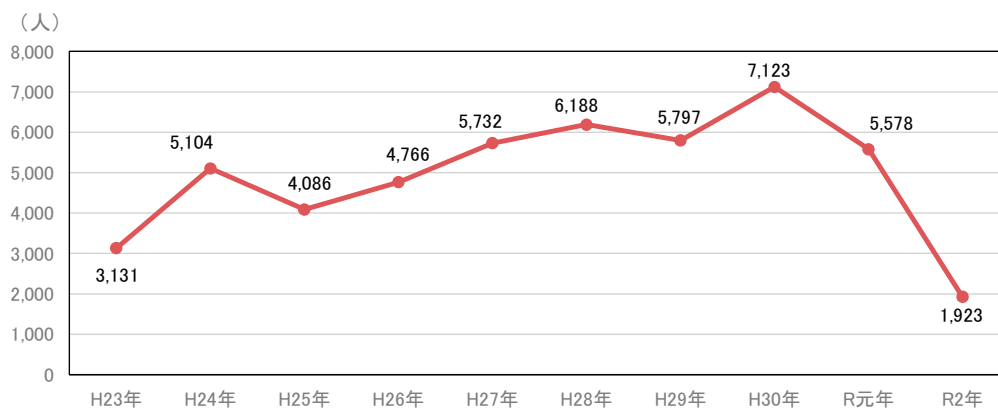
災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。

また、火災予防体制の強化を図ります。

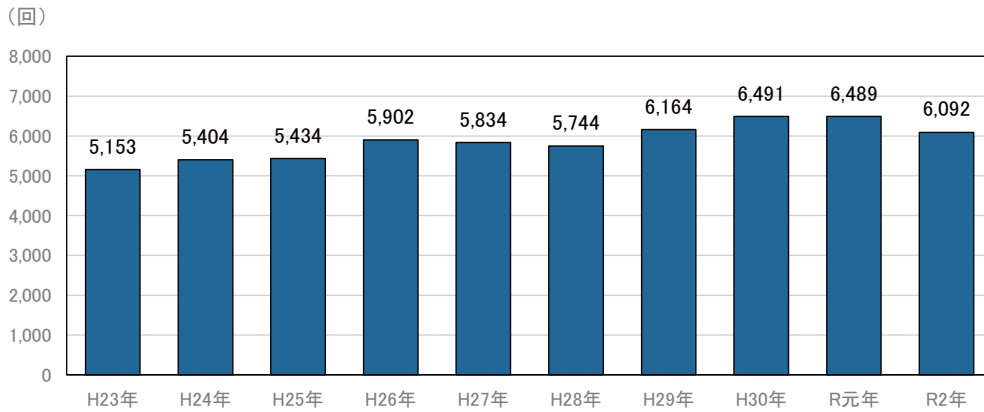
### 現状と課題

- 消防活動には、火災、救急、救助の災害出動のほか、地震や台風などの大規模な自然災害への対応もあります。このような災害に対応できるよう、施設や装備、人員の確保を含めた消防・救急・救助体制を強化する必要があります。
- 高齢者の増加にともない、救急需要も年々増加する中、緊急性の低い要請も増えています。救急車が適正に利用されるよう啓発を進める必要があります。
- 全国的に、火災への備えが不十分な建物において犠牲者が多く発生しています。火災を予防し、被害を最小限にするための対策を進めていく必要があります。

救命講習年間受講者数



## 救急車の出場回数



## 主な取組

## 消防体制の強化

- 災害などに的確に対応できるよう、人材の育成と装備の充実・強化を図るとともに、広域での連携体制を強化します。
- 救命率の向上を目指し、市民などへの応急手当法の普及・啓発を進めます。
- 火災または地震などの災害から市民の生命・身体及び財産を守るため、消防訓練の実施、消防機械器具を適正に維持管理していくとともに、傷病者の搬送を適切に行うため、各種感染防止対策の強化を図ります。
- 災害に備え、消防施設等を適切に維持管理するとともに、湖北分署を移転し、人員・資機材を強化した（仮称）湖北消防署を整備します。
- 市民の生命・身体及び財産を守るため、消防職員の資質向上を図り、組織体制を強化します。

## 火災予防体制の強化

- 住宅用火災警報器の普及促進により、設置率の向上に努め、住宅火災による被害の軽減を図るとともに、設置状況調査を実施します。
- 法令に基づく消防設備などの違反に対し厳正な処理を行い、防火対象物の安全性の向上を図ります。
- 住宅火災による被害を防ぐため、女性防火クラブ員などによる地域住民への防火啓発や初期消火の訓練指導などの活動を行っていきます。



### 施策指標

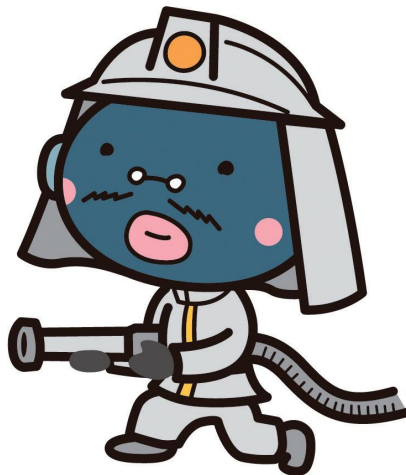
指標名	現況値	目標値	備考
災害出動覚知から現場まで 8.5 分以内に到着できた割合	56.5% (R2)	100%	
住宅火災による死者数	0 人 (R2)	0 人	放火自殺者を除く
救命講習年間受講者数	5,578 人 (R1)	7,800 人	
消防用設備等の点検報告率	53% (R2)	70%	点検報告済防火対象物数 / 点検を要する防火対象物数

### 施策の満足度・不満足に関する指標

#### 【消防・救急救助体制の強化】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 84.5%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	47.4%	59.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	4.1%	3.8% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	4.1%	
	湖北地区	3.9%	
	新木地区	4.7%	
	布佐地区	10.0%	



## 1-5 交通安全の推進

交通マナーや安全意識の向上を図るとともに、安全な交通環境の整備を進めます。

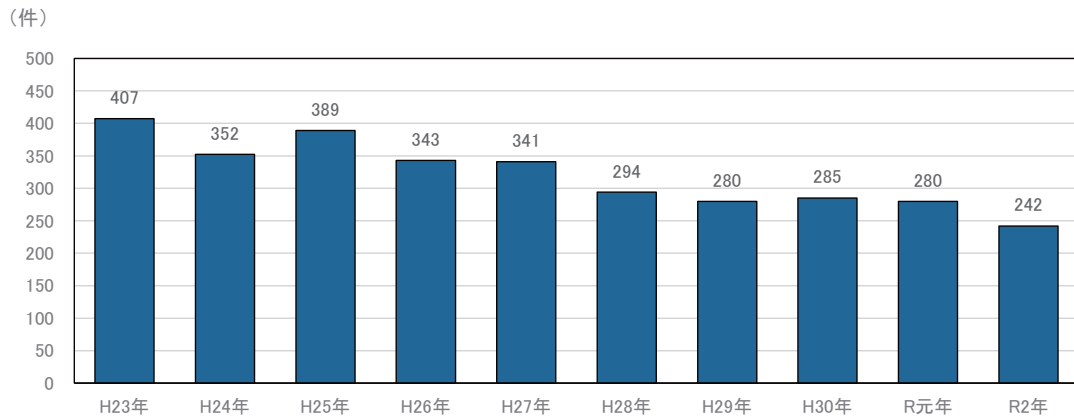
### 施策の展開内容

交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めます。

### 現状と課題

- 市内の交通事故発生件数は減少傾向にありますが、一人ひとりが交通安全への意識を持つことで防げる事故がまだ発生しています。交通安全の意識を向上する取組を推進するとともに、交通危険箇所への対策を進める必要があります。

交通事故の発生件数



### 主な取組

#### 交通安全普及啓発活動の推進

- 警察・交通安全協会などと連携して交通安全教室や普及啓発活動を推進することで、交通安全意識や自動車と自転車の運転マナーの向上を図ります。

#### 交通安全施設の整備

- 交通の安全を確保するため、警察や道路管理者と連携し、信号機やガードレールなどの交通安全施設の整備を図ります。



## 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
交通事故による死者数	4人 (R2)	2人以下	1月から12月までの年間 市内発生件数
交通事故の発生件数	242件 (R2)	240件	1月から12月までの年間 市内発生件数

